



1年学年だより

発行日:令和6年3月25日(月)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:遠藤 広樹 NO. 11

学年末を迎えて

校長代理

中澤 務

3月19日に附属中学校第10回卒業式が行われました。卒業式では私から卒業生一人ひとりに卒業証書をお渡ししました。また遠藤校長から式辞として、卒業生にメッセージが送られました。その内容を要約してお伝えします。

「中学校の全課程を修了するだけでなく、同時に9年間の義務教育を修了した証明として卒業証書を渡します。心も体も大きく成長する3年間は平坦な毎日ではなかったと思いますが、無事卒業できるのは一人ひとりが努力を重ねてきた結果です。これまでの15年間を振り返り、皆さんが存在していることは、それだけでも大きな意味や価値があります。保護者の皆さんや教職員に感謝の気持ちが伝わればいいと思います。皆さんの学校生活は新型コロナウイルスの影響を大きく受けました。小学校での分散登校や行事の中止、部活動への制限が続いたこと、海外での研修旅行ができなかったことなどがあります。そんな状況でも、皆さんは学習や行事、部活動で大いに活躍しました。中学3年生で2回の研修旅行を実施することができました。それは皆さんの意欲があったから、そしてそれを後押しした教職員、さらに全力でバックアップしてくださる保護者の皆さんがいたからです。皆さん自身が一つひとつのことを自分事として捉え、それがよりよいものになるよう工夫する姿勢が校長としてうれしく思いました。これからも困難に臆することなく、多くの人と力を合わせ、新しいもの、新しい価値を創造できる人になってほしいと思います。来年度は南高創立70周年、南高附属中創立10周年のメモリアルイヤーです。よき伝統の上に新たな価値を創造してください。自分に優しく、人にはもっと優しく、自分の命を大切に、人の命も大切に、将来にわたって豊かな人生となることを期待しています。」

校長の式辞にあった、「一つひとつのことを自分事として捉え、それがよりよいものになるよう工夫する姿勢」や、「自分に優しく、人にはもっと優しく、自分の命を大切に、人の命も大切に」していることは1、2年生の皆さんにも感じられることです。先日は、能登半島地震により、避難している生徒さんのビデオメッセージを真剣に受け止め、私たちができることは何かを精いっぱい考えてくれました。皆さんは普段から各教科や総合的な学習の時間”EGG”などで、社会全体や地球規模の問題について考えています。皆さんには異なる文化や背景、価値観をもつ人と力を合わせることができ人になってほしいと思っています。この1年の成果を振り返り、進級した学年でも一層仲間を大切にしながら活躍することを願っています。



中澤が絵を制作しました。題名は「楠のある学舎」。たくさんの緑を湛えるくすのき広場越しに見える、南高・南高附属中の校舎を描きました。

後期 EGG ゼミ ポスターセッション発表会

3月9日(土)に後期 EGG ゼミ ポスターセッション発表会を開催しました。多くのご参観ありがとうございました。12期生のみなさんも回を重ねるごとに緊張も和らぎ、気持ちをこめて発表することができました。

ポスターセッションという発表形式は、発表者と聞き手とともに学びを広げて深めていくもの。自分たちの実践活動をよりわかりやすく説明するのはもちろんのこと、お互いに「質問しあう」ことにも力を入れました。ご参観の保護者の方からも質問をいただいて、緊張しながらもメンバーで協力しあって回答することができたとき、いっそう達成感を感じられたようです。質問をもらおうと、自分たちでは気づかなかった新しい視点に気づき、次の活動を展開したくなったことでしょう。「次は…」という意欲を、ぜひ2年生の EGG ゼミの探究的な学習の原動力にしていきましょう。クラステーマの話し合いから1年間、12期生のみなさんが楽しんで EGG ゼミに取り組んでいたことを嬉しく、頼もしく思います。

12期生のみなさんの後期 EGG ゼミのふりかえりの一部を紹介します。



ポスターのほかに
フリップも使って
説明しました。

もう少し詳しく説明
してください、とい
うのもよい声掛けで
すね!



たくさんの方が集
まって、発表者も
気合が入ります。

1組: 保護者からの質問がすどかった。適切な答えを出せなかったのが、準備の不十分さを感じた。海外からの移住者について、私は外国人としてとらえてしまっているが、それほど身構えずに接することが大

切だと感じた

1組: 水素バスに乗りに行くために、どこに行けば良いのか、バスは何時に来るのか、何を見るのかなど決めなければいけないことがたくさんあったので、それらを調べることを頑張った。発表直前のクイズを追加したことが印象に残っている。内容も伝わりやすくなり、楽しさも増してよかった。

1組: 質問に具体的に答えられるように、述べたことと関連づけて説明することができた。聞き手にも入り込んでもらえるように参加型にしたり、相手の目を見たり、具体的な例や身近な例を挙げて説明することができた。

2組: 自分が伝えたいことを聞いている側の人に伝わるように、まとまった話し方ができるようがんばった。水素バスをテーマにして、実際に水素バスに乗ったという発表を聞いて、自分も乗ってみたいと思った。また、クイズ形式で発表していて楽しく話を聞くことができた。

2組: 質問が毎回 3、4 個出て、自分たちの説明では足りていないと気づかされた。少しずつ改善したが、まだ改善の余地があったということに気づけた。

2組: リハーサルや読み合わせを繰り返したので、毎回毎回良くなっていった、最終的にとてもわかりやすくできて良かったです。質疑応答では、思ったよりも踏み込んだハードな質問が多くて、しかもテーマが難民だったので確認しながら答えなければ大変でした。

3組: 質疑応答のなかで、「プラスチックはこの国から流れついたものなのか」など、私たちが注目しなかった質問をいただき、勉強になった。また、多くの質問に答えることができたのは、発表原稿を何度も練り直していたことが役立ったなと思った。

3組: 実際に海岸でゴミ拾いをした時、プラスチックゴミが予想以上に多くて驚いた。また NPO 法人の講演会で、「ゴミに実弾がある」など、海にはとても多くのゴミがあるということが印象に残っている。

4組: 今回のユニバーサルデザインについてもっと深くインタビューしたり、アンケートをとったりするなどの取り組みをしてみたい。ノーマライゼーションの考え方が広まっている国についても知りたい。自分たちにできることがないか考えてみたい。

4組: フェアトレードとはどういう活動なのか、インタビューしたベルダさん達の仕事への思いを細かく説明し、聞く人たちにベルダさんの思いを届けた。フェアトレードとは誰もが対等な関係になれるように、仕事での上司と部下の関係をつくっていないということを知り、そんなことがあるのだと驚きました。

4組: 印象に残っているのは、実践活動をたくさん行なったことです。合計4つ(1つは計画倒れ)行なったのですが、2つ(ラポールと市役所)は実際に現場に行ったり、イベントに参加したりできたので、知りたいことを生で聞けて、EGGというより、自分に対しての大きな勉強になったと思いました。

お知らせ

令和6年度の始業式は **4月8日(月)**です。

○ **8:40登校** @くすのき広場

○新年度クラス名簿を受け取って、4階教室に移動

○持ち物

筆記用具、連絡票の赤ファイル、アリーナ履き

部活動のある人はお弁当

○始業式がありますので、服装を整えて登校してください。

今月のよし👍ポイント!

この3月は、締めくくりの1カ月となりました。激動の変化の1年間を走り抜いた12期生のみなさん、どんな1年間でしたか? 知ること、学ぶことが楽しいと思っていただけたら嬉しい。みんなと協力して行事等に取り組むことが楽しいと思っていただけたら嬉しい。そんな姿を、これからも見せてくれたら嬉しい。学年集会でもお話しした通り、「節目」を大切に、グッと頑張れる12期生の第2章に、期待しかありません。